

養生片仔癩の研究内容：

<実例報告>

内因性の肝炎抗酸に対する「養生片仔癩」の効果について：

第 37 回日本肝癌研究会・第 4 回国際肝硬変肝癌シンポジウム

平成 13 年 6 月 7～9 日 海峡メッセ下関

ヨーロッパ肝臓研究学会 2001 年 イタリア

F.マロタ、M.原田、N.矢内原、G.M.イデオ、M.G.シール、
C.C. ウー、P. サフラン、G.イデオ、

肝一消化器部、S. ジュゼッペ病院(ミラノ、イタリア)、MCH 病院(東京)、
矢内原研究所(静岡)、SFJO&Labs(パリ)、外科部 Vet 病院 (Taichung,台湾)

本研究では C 型肝炎患者に対してトランスアミナーゼ低下効果のある養生養生サプリメント「養生片仔癩」を虚血再灌流障害によりフリーラジカル関係肝臓損傷に対してテストした。ウィスター系ラットを A 及び B 群に分け、以下のような食餌で 2 週間飼育した。

[方法]

A)標準的食餌

B)標準的食餌に「養生片仔癩」(協通事業)30mg を加えた典型的な虚血/再灌流障害の肝臓モデルを作製し、60 分間の再灌流の後、肝組織血流を測り、ラットを処理した。

[結果]

別に生存試験も行い、以下のパラメーターを検討した。すなわち肝組織過酸化物質、SOD、カタラーゼ、GSH 代謝、肝組織血流、ESR による「養生片仔癩」のラジカル補足能である。60 分間の再灌流の後、B 群は有意に低いMDA レベル ($p < 0.05$ vs. 対照群)を示した。肝臓抗酸化防御システムの全体的な損傷($p < 0.001$)とともに特に GSH と GSH-Px は正常値に戻り GPT も有意に低下した。 ($p < 0.05$)

「養生片仔癩」は過酸化物質にも水酸其ラジカル系にもラジカル補足能を示さなかった。虚血/再灌流現象は A 群において肝組織血流約 40% ($p < 0.001$ vs シャムオペ)の低下を示した。「養生片仔癩」前処理群では血行動態パラメーター ($p < 0.05$ vs. 未処置群)の回復を可能にした。肝虚血後の生存率は 20% にすぎなかったが、B 群では 45%の生存率($p < 0.05$)を示した。

養生片仔癯の研究内容：

[結論]

本研究の栄養学的アプローチは直接的なインビトロ作用とは関係のない内因性フリーラジカル補足剤に対し、顕著な強化作用を提供するものと考えられる。